

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	英語学演習				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

英語学・言語学に関するトピックを取り上げ、単なる「理解」から「研究」に発展させていくことをめざす。講義したことや参考文献に述べられていることを正しいこととして、無前提に受け入れるのではなく、常に「本当にそうなのか？何故そうなのか？」と疑問を持ちながら学習し、研究ができるようになることを目標とする。常にグローバルな視点から考える習慣を持つようになる。

《授業の到達目標》

この授業は、学生は既存の英語の学説を理解し、受け入れるだけでなく、理論的な根拠をもとに批判的に学ぶことができるようになる。自らの『仮説』を立て、その正しさを証明する。英語を学ぶという意味も常に考えていくようになる。

《成績評価の方法》

プレゼンテーション50%、レポート50%

《テキスト》

『To Learn How to Teach English』 (関西学院大学出版)

《参考図書》

Let's Cross Culture! (Asahi Culture Express)

《授業時間外学習》

演習を基本に講義が組み立てられているので、毎回の実践的な授業を復習、またプレゼンテーションに向けて練習する必要がある。

《備考（教員経験の有無）》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験、・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	Introduction	Introduction。取り上げるテーマのための論文・研究書などの紹介（コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う）
2	言語学	英語学・言語学の基礎知識の復習 4年生の卒論テーマの発表ー（1）
3	プレゼンテーションテーマ	基本的事項の確認 プレゼンテーションの発表ー（2）
4	英語分析1	分析の基礎となる理論(1) 専門概念の研究ー（3）
5	英語分析2	分析の基礎となる理論(2) 基礎的操作の研究ー（4）
6	プレゼンテーション1	プレゼンテーション（1）～レポーターによる報告
7	プレゼンテーション2	プレゼンテーション（2）～レポーターによる議論
8	プレゼンテーション3	プレゼンテーション（3）～クラス全員での議論
9	問題点追及	どのような分析上の問題点があるか、解決策を追及
10	分析	統語分析のまとめ
11	言語の構造	英語、日本語の構造の研究
12	言語の共通点	日本語と英語の共通点の研究
13	言語の発想	日本語と英語の発想の違い
14	ターム・ペーパー	ターム・ペーパーの書き方研究、プレゼンテーション
15	テスト	授業内容の総まとめと試験、プレゼンテーション